

子供の意見の聴収について

1. 目的

いじめ防止対策推進条例を掲げる上で大切になる、学校における、『いじめのない学校』、『安心して過ごせる居場所』等は、第4次日野市学校教育基本構想でも掲げている「みんなの多様な学びと多様なしあわせをつくる」や、「みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる」の方針に掲げており、根底には、子供たちが、『どんな学校であることを望むか』があると考え。そこで、第4次日野市学校教育基本構想の問いに沿いながら、子供たちに問いを投げかけて、子供たちの声を聴取及び分析し、条例の前文等へ反映させていく。

2. ねらい

子供たちへ問い掛ける項目と内容

項目	項目の内容（ねらい）
1. 第4次日野市学校教育基本構想の問いを再聴取、並びに経年変化の分析	◎第4次日野市学校教育基本構想で児童・生徒の声を拾いあげた。その中から「5年後、学校はどんな学校になっていてほしいか」等、学校へ望む姿の設問があった。いじめに関わる直接的な質問では、『いじめのない、安全で安心な居場所』が同義にあり、今回も同様に第4次日野市学校教育基本構想に沿って、子供たちの声を聴取し、結果を分析していく。
2. 新項目を追加したねらい	◎直接的な表現として『いじめ』をなるべく引用せず、学校にある良いルールや、あったら良いなと思うルールについて問う。 ◎『理想の学校であるために、みんなができることは何ですか？』等、自分にできることを問う

※1 上記の内容を設問に落とし込み、第4次日野市学校教育基本構想に沿った形で

子供たちの声を聴取する。

※2 拾いあげた声から、『いじめ』につながる声を拾いあげ、条例の前文等に反映を

させていく。